

沿岸定線観測速報 ちば (2021年11月)

千葉丸：11月13～15日

千葉県水産総合研究センター
千葉県農林水産技術会議
令和3年11月30日

黒潮は、接岸して房総沖を北東に流れていました (図2)。
水温は、水深0,50mでは概ね平年並、100,200mでは平年並～やや高めでした (表1)。

(詳細)

水深10mの水温は16～25℃で、黒潮の北縁付近から岸に向かって水温が急変する潮目が形成されていました (図3)。九十九里及び太東岬南東線では、大陸棚上のそれぞれ水深50～100m、100～150mに水温15℃以下の冷水が見られました (図5)。また、野島埼沖では、15℃以下の冷水が岸付近で表層まで湧昇していました。

海面の流れは、北東へ向かう流れが卓越し、黒潮の流軸から北縁では流速が3～4ノットに達していました (図2)。また、外房のごく沿岸では、南西へ向かう流れが見られました。

クロロフィル濃度は、銚子・九十九里沿岸の水深10mでは1～3μg/Lで、例年よりやや高めでした (図7)。

キンメダイ漁場における水深100m以深の水温は、勝浦沖では前年より1～3℃高め、銚子沖では前年より5～7℃低めでした (図8)。

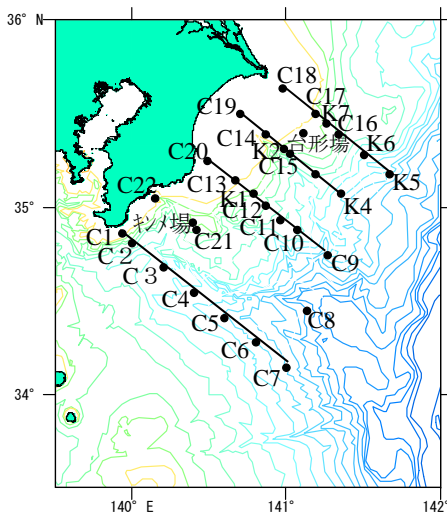


図1 調査点 (c21, k5は欠測)

線は北から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線

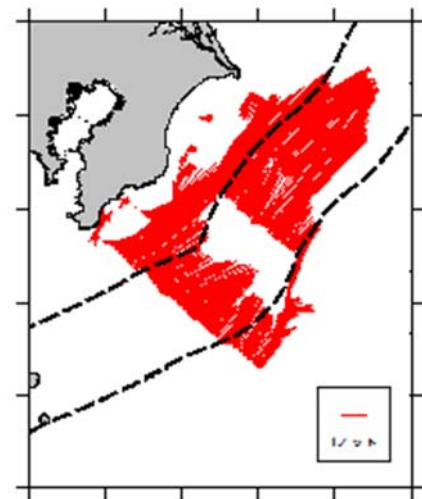


図2 黒潮流路 (破線) と流況

表1 海域別平均水温 (°C) と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	21.7 平年並	20.9 平年並	19.9 やや高め	14.6 平年並
外房	21.5 平年並	19.7 やや低め	17.6 平年並	16.5 やや高め

*水温評価点 銚子・九十九里海域：C14～20 計7点，外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点

*沿岸水温評価の目安 (σ：標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ～
高め	1.3 σ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ～1.3 σ
平年並み	0.0 σ～0.6 σ
平年並み	-0.6 σ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ～

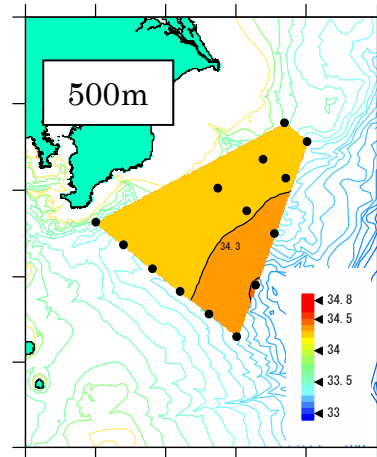
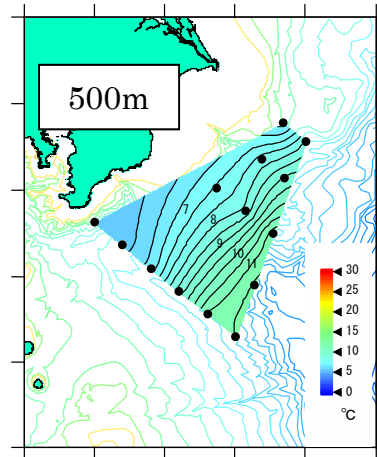
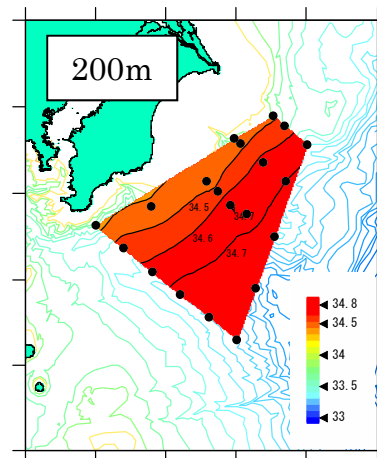
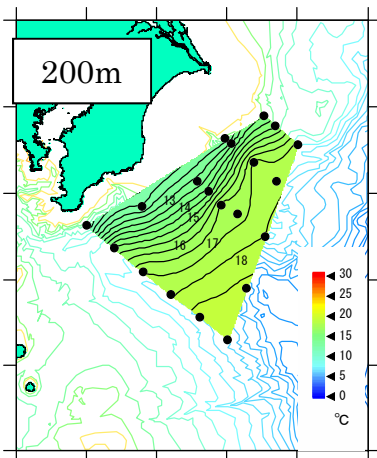
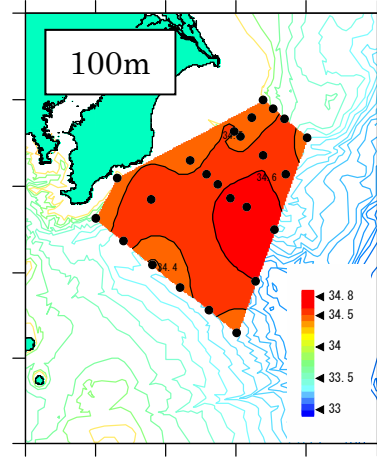
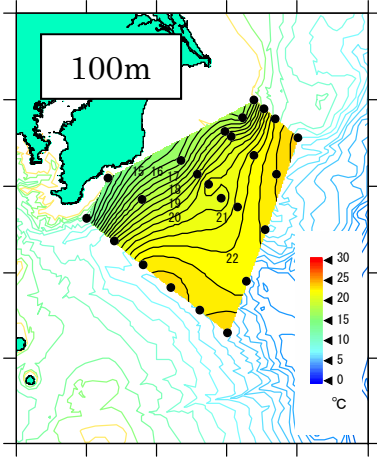
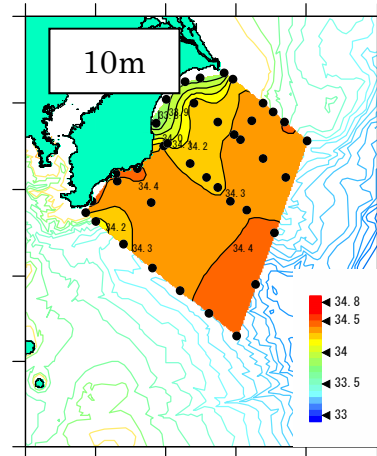
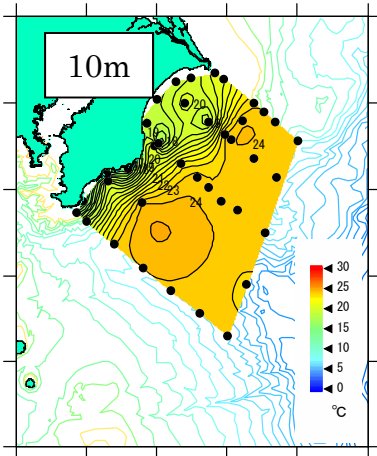


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

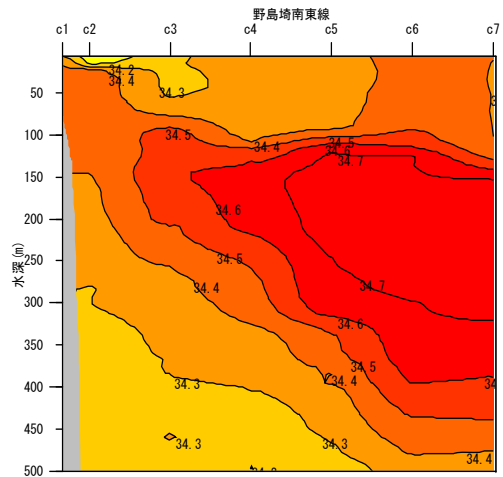
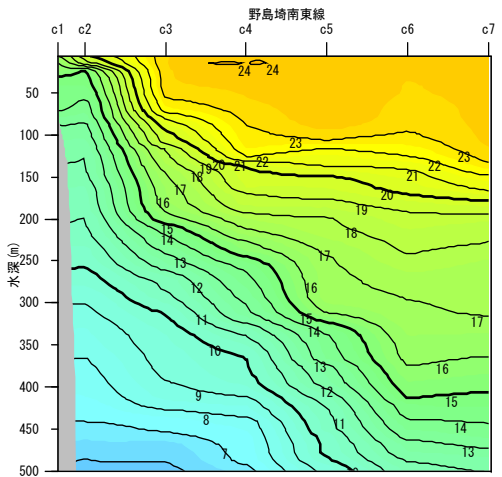
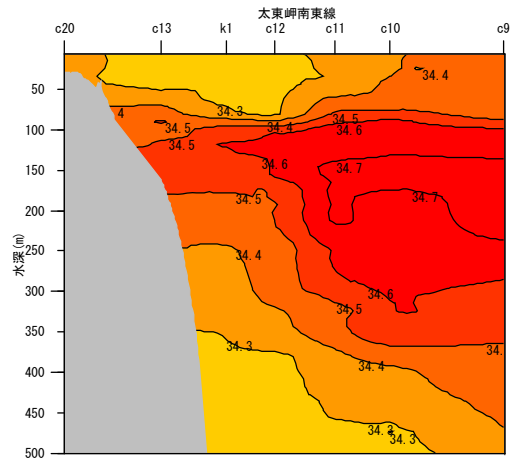
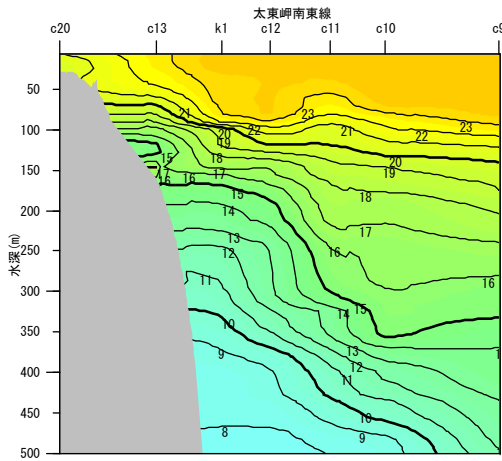
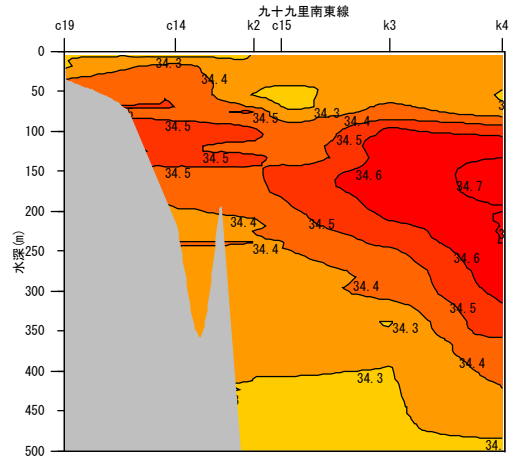
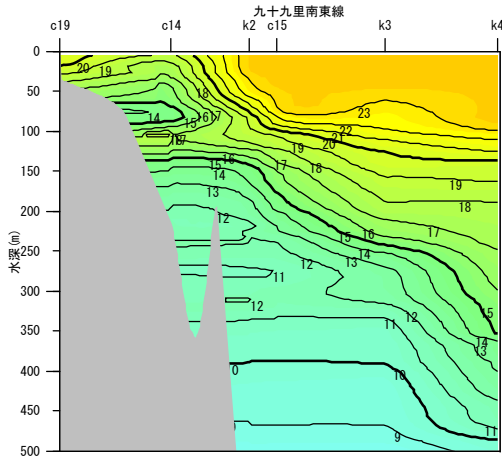
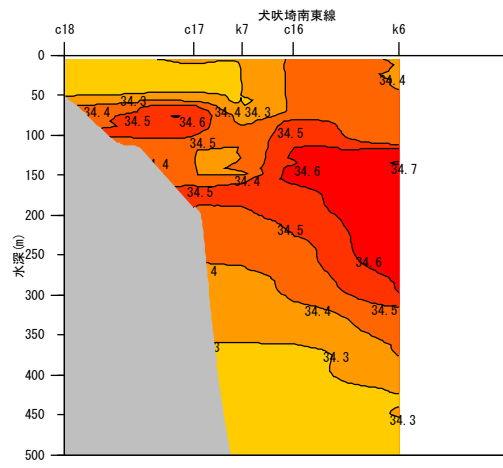
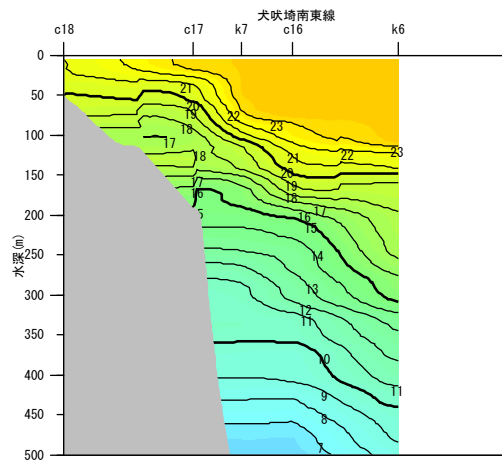


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線（図1参照）

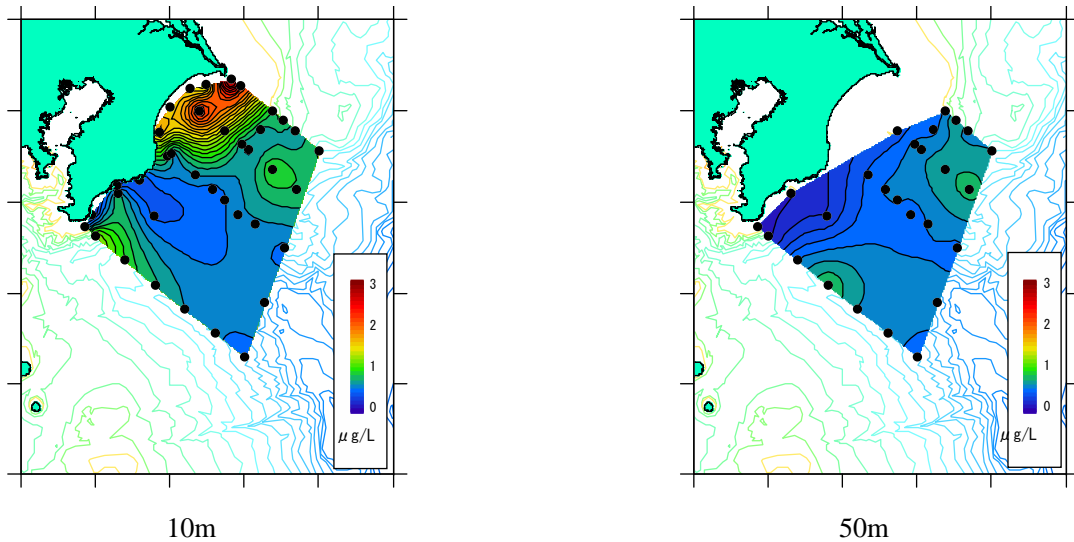
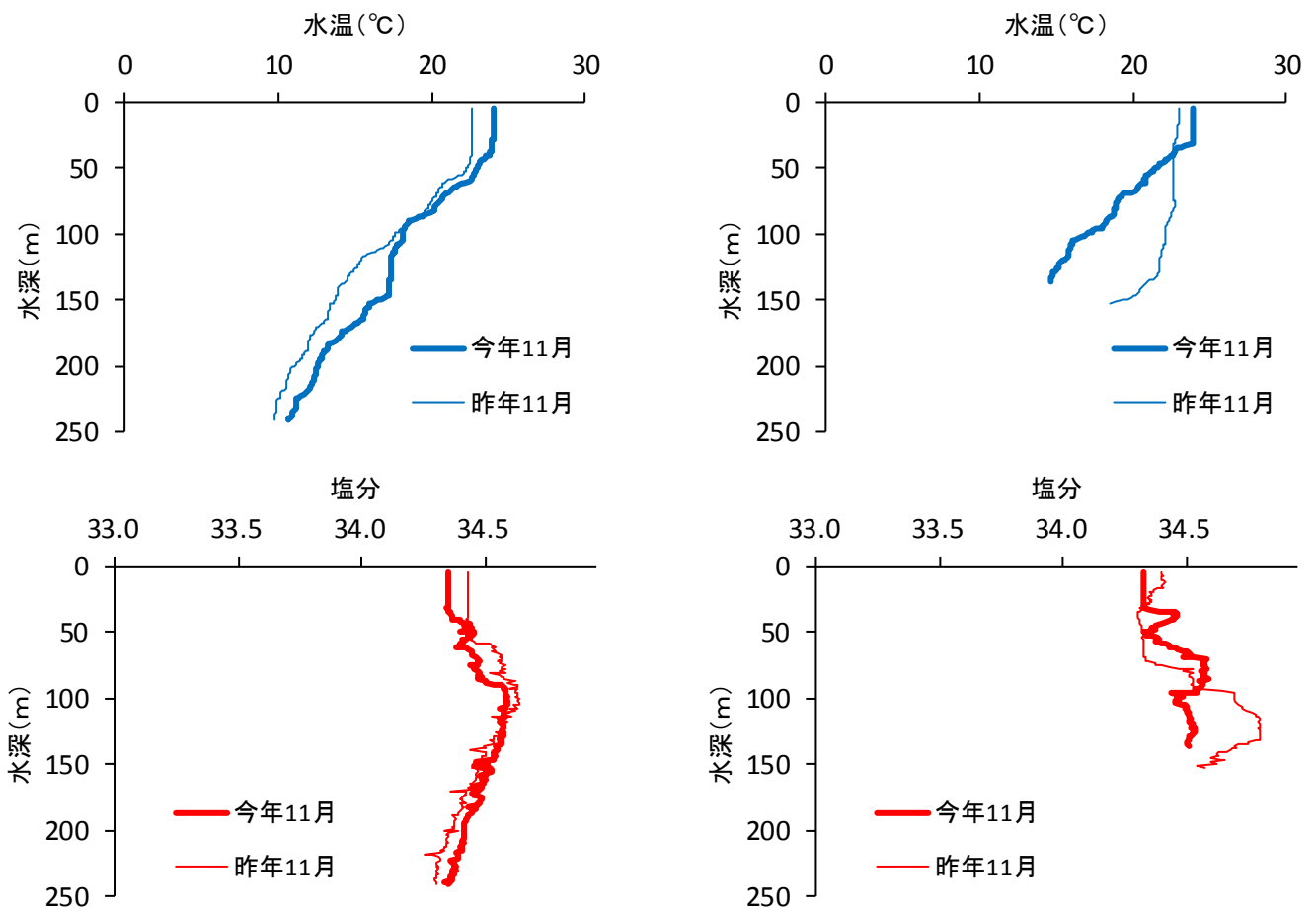


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温、塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)

<資料> ふさみ丸観測データ (10月13日分)
 関東・東海海況速報改編 (図2; 10月12日分)